

第2回通常総会・全議案満場一致で承認される

農業公社だより

発行
社団法人
角田市農業振興公社
TEL63-2328
FAX61-1521

六月一日、JAみやぎ仙南総合営農センターを会場に、総会員数百四十二名中、七十四名の出席を得て、角田市農業振興公社第二回通常総会が開かれ、全議案満場一致で承認されました。

開会に先立ち、佐藤理事長は、「公社を昨年設立してから、手足が無いという新規参入希望者への支援を行う「土の塾」からなっています。二つ目は、食農学習の里づくりで、地元小学校への総合学習等の支援や、歴史的なつながりの深い東京都目黒区や仙台市等の都市生活者に対して、角田での農業と農村体験を通じた交流により、食と農の学びの里づくりを目指すものです。三つ目は、角田農業や地域全体を紹介するホームページとして「ウェブマガジンあぶくま農学校」の開設と、都市生活者へインターネットを通してリアルタイムで農業の体験学習を行うバーチャル農学校の開設を目指すものです。

◇トップブランドづくり

プロジェクト



▲開会のあいさつをする佐藤理事長

なことがいわれたが、シンクタンク機能やIT戦略を十分に活用した公社の運営ができる体制が、できつつあると考えている。他の農業公社を見てきたが、この部分については進んでいると考えている。角田市には、五千畝の農地があり、二千五百畝の水田とその他の千畝に及び転作をどうするかである。転作の推進について、誰かが旗振り・道筋を示す必要がある。旗振り役を鮮明にすることも公社の役割であると考えている。それについても公社の会員の多くが農家であることから、公社の基盤がしっかりしたもので推移すると考えている。特別会員も友好都市目黒区の協力によって多くの方が入っていただきました。今後とも会員や関係機関の方々の協力をお願いしたい。」とあいさつ。

続いて、来賓の大河原産業振興事務所中鉢所長、角田市議会太田議長から祝辞を頂き、さらに大河原地域農業改良普及センター齋藤所長、角田市議会齋藤産業経済常任委員長のご臨席を頂きました。

議長に角田の岸浪俊一氏を選出して議事に入り、



▲議長の岸浪俊一氏

事務所移転に伴う定款の一部変更。平成十二年度事業報告、収支計算書等の財務諸表の承認。平成十三年度事業計画の変更、予算の補正が行われ、原案どおり可決致しました。最後に役員を選任が行われ、満場一致で承認されました。

また、本年度の重点事項として、あぶくま農学校による農業人材の育成。農地の利用集積の促進。地域循環型農業の推進。自主プロジェクトの支援等を掲げました。

総会終了後、農林水産省より、畜産総合対策室長の荒川隆氏を講師に、「我が国の農政をめぐる情勢について」と題して、研修会が開かれました。(詳しい内容は、三ページをご覧ください。)

〈新役員〉

任期・平成十三年六月一日から平成十五年通常総会まで

理事長・佐藤清吉(角田市)

副理事長・佐藤宏(みやぎ仙南農業協同組合代表)

理事・我妻武(みやぎ仙南農業協同組合地区理事代表)、山中信雄(角田市農業委員会会長)、遠藤忠良(県南農業共済組合組合長理事)、佐藤武敏(角田土地改良区理事長)、大井賢治(角田隈東土地改良区理事長)、日下巳代治(学識経験者)、水戸寿範(角田市産業建設部長)、八木沼昌一(農業者・角田)、面川義明(農業者・北郷)、星智宏(農業者・枝野)、門馬強(農業者・枝野)、穴戸明美(農業者・北郷)

監事・荒川庄助(仙南中央森林組合常務理事)、佐藤良一(農業者・みやぎ仙南農業協同組合監事)